

認知症ケアパス



平成 27 年 6 月

飛島村民生部保健福祉課

飛島村地域包括支援センター

ケアパスって、なあに？

認知症が心配の方について、本人や家族が認知症について知りたい時、どこに相談したらいいかなど相談窓口などが分かるようになっているものです。詳細については以下のように3つのことを主に記載されています。

認知症の疑いに気づいた本人あるいは家族等が最寄りの相談窓口にご相談します。相談を受けた窓口は、医療と介護が連携を取りながら、早期診断、早期治療につなげます。

診断をもとにかかりつけ医、家族、ケアマネジャー、介護サービス事業所等が協力して、本人が、穏やかに生活が継続できるよう、介護者の負担が重くならないよう支援します。

病気の進行等により在宅生活が困難になった場合は、一時的な入所・入院により専門家の対応が必要な場合がありますが、状態が安定すれば、再び元の住み慣れた地域に戻ります。

家族を始め地域の力、医療、介護など様々な資源を活用しながら、認知症になっても本人の尊厳が守られ、住み慣れた地域で生活が継続できることを目的としています。

飛島村では、高齢者の支援を丸ごと直営の地域包括支援センターが担っています。

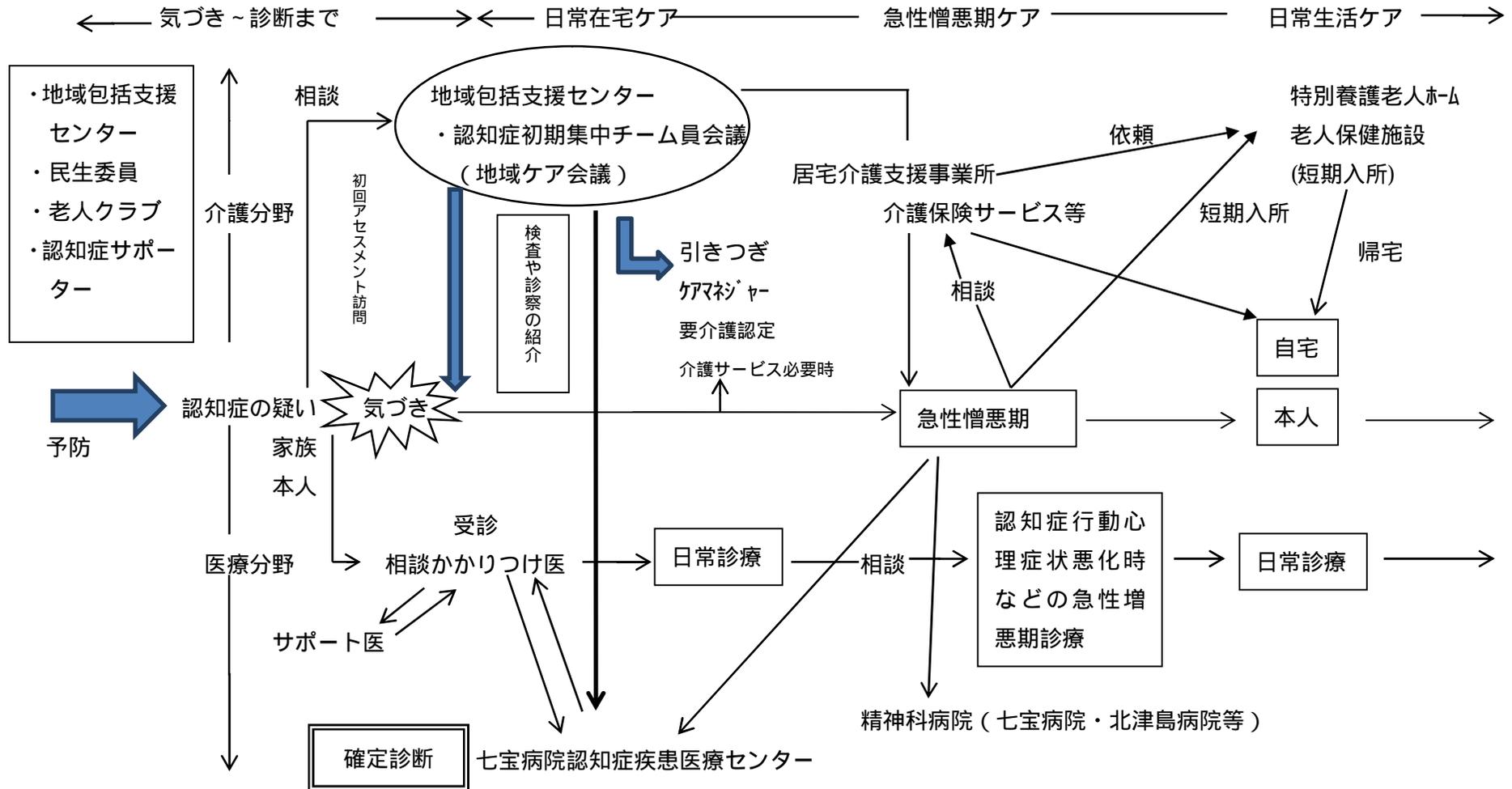
認知症予防など介護予防は、敬老センターを中心に行い、保健センターと連携し、介護が必要な状態になる恐れのある高齢者の生活機能向上に取り組んでいます。

また、各種相談についても対応しています。

その他にも、民生委員、社会福祉協議会等の社会資源や地域と連携し、高齢者の自立を支援します。

このケアパスは、毎年、修正等を行い、更新していきます。

認知症ケアパス



～目次～

ケアパスの説明

認知症になっても安心して暮らすために

認知症の基礎知識	1
早期に受診や治療が大切です	4
認知症への備え（財産のこと）	6
認知症の人の接し方	7
関わり方のポイント	8
認知症の人への対応の心得	9
認知症の方の介護のポイント	10
認知症の予防	11
認知症に関する相談窓口	13
みんなで支援～認知症サポーター	15
社会資源	16
社会資源一覧表各種サービス内容	19